



平成26年12月19日  
松ヶ崎小学校学校運営協議会  
広報委員会

## お世話になりました

### ～研究発表会 12/5(金)～

コミュニティ・ニュース No.5 でもお知らせしましたが、本校は、環境教育の学習をおこなっています。京都市教育委員会からは、「21世紀型ICT教育の創造モデル事業調査研究」の指定も受け、研究を深めています。

先日12月5日(金)には研究発表会をおこない、その研究の一端をみていただきました。子どもたちが、自ら課題を設定し、追究していく学習スタイルは、私たち指導者にとっては、難しいものです。けれども、山に入ったり、ゲストティーチャーとしてお話をうかがったり等、さまざまな体験をさせていただいたことで、子どもたちの学びも深まり、たくさんの気づきが生まれたようです。

研究発表会当日も、お世話になった方々、地域の方々、保護者の方々にお出でいただきました。ありがとうございました。また、当日、そして当日までにも、たくさんの地域の方々にお世話になりましたこと、深く感謝いたします。

自然ゆたかな松ヶ崎の地域で、さまざまな体験をさせてもらうことは、子どもたちにとって、ほんものの力となって生きて働くでしょう。自身が実際に目で見て感じたことは、忘れることはありません。それが言葉となって表現されていくでしょう。そして、なによりも、学校教育目標の一つである「**地域を愛する子**」を育てていくことにつながっていくと信じています。

地域の皆様方には、今年一年大変お世話になりました。今後も引き続き、どうぞよろしく願いいたします。



### なかよしルーム1・2

#### 「お仕事 発見! Part2:「食べる」ことにかかわる仕事」

見学に行き、調べて分かった内容を、Part1 同様にiPadのロイポートにまとめていきました。

畑グループ・市場グループ・八百屋グループ・スーパーグループに分かれ、作品を発表しました。

それまでには、地域の柵一 中川助嗣さんの柵一に見学に行かせていただき、農家の仕事の工夫や苦勞、喜びについて、中川助嗣さんから話をさせていただきました。



### 1年1組 「きせつと あそぼうーあきといっしょにー」

年長さんが楽しんでくれた様子を発表しあいました。そして、秋の楽しさや自分たちの成長を振り返りました。

それまでには、秋の自然の素材と廃材を使って、工夫しながら遊びました。そして、年長さんと一緒に楽しめる会の準備をし、近くの幼稚園、保育園の年長さんを招待しました。



### 2年1組・2組 「まちをたんけん 大はっけん

#### ーまつがさきの町をもっともっとすきになるためにー

松ヶ崎の町の「すてき」を家の人に伝える方法の工夫を考えました。

それまでには、松ヶ崎の町をたんけんし、お店や公共施設で働いている方々にインタビューをさせていただきました。



### 3年2組

#### 「わたしたちのたからもの「松ヶ崎の里山」」

昔の人が「松ヶ崎の里山」の木をどのように利用してきたのかを考えました。京都工芸繊維大学の学生さんたちの協力(小大連携事業)のもと、木の組み合わせと組み合わせない山の模型に雨を降らし、どなるかという実験をおこないました。木が組み合わせない山は、根が張っていて(栄養が行き渡っている)、木が倒れないということがわかりました。そして、昔の人々が木を使うことで、山を守ってきたということにも気づきました。

それまでにも、学校運営協議会理事長 岩崎猛彦さんや岩崎皓さんに来ていただいてお話をうかがったり、山に入ったりして学習してきました。



### 4年2組

#### 「松ヶ崎 人・水 ふれあいプロジェクト」

泉川水系を守るために、私たちができることを提案します。よりよいプロジェクトの発表をするために交流し、アドバイスをしました。

それまでには、岩崎猛彦さんに来ていただき、昔の川の様子や水路の利用についてうかがいました。また、自分たちのつくった提案を聞いていただき、アドバイスをいただきました。



### 5年1組

#### 「地域のほこり 菜の花漬け」

地域の方にインタビューしたことを分析・分類することで、菜の花漬けのよさや課題について考えました。

菜の花漬けといえば、三宅秀典さんです。それまでにも、学校に来ていただき、菜の花漬けの歴史やつくっておられるおもしろい話を聞かせていただいたり、インタビューさせていただいたりしました。

授業の終わりには、「よくがんばったね。」と声をかけていただき、子どもたちは、ますます学習意欲を高めました。



### 6年1組・2組

#### 「未来へ受け継ぐ わたしたちの松ヶ崎」

「さし踊」に対する地域の人々の願いをかなえるために、自分たちができることを考え、話し合いました。自分たちが考えたアイデアを座標軸(縦軸:「効果的である」「効果的でない」、横軸:「自分たちができること」「大人の人に頼むこと」)に動かして考えました。

当日は、その様子を立正会理事長 学校運営協議会理事の岩崎恭輔さんに見ていただき、アドバイスをいただきました。また、それまでにも、たくさんのご指導をいただきました。